

自分たちのまちは 自分たちで守る



本市では、市民が主体となった自主防犯活動団体の継続的なパトロール活動を基本として、警察などと協力しながら、創意工夫をして安全・安心なまちづくりを進めています。地域の防犯活動のさらなる普及を図るため、地域防犯活動啓発普及事業を通し、地域での自主防犯活動団体の立ち上げ支援を行っています。これから防犯活動を始めようとしている、または活動のレベルアップを希望する自主防犯活動団体を、現在、募集しています。



地域防犯活動啓発普及事業

この事業は、市内の自主防犯活動団体で組織している「四日市市地域防犯協議会」が企画運営を行い、所属団体の会員自らが講師なども務め、自主防犯活動の進め方や実施指導を行うなど、自主防犯活動団体の立ち上げ支援を行うものです。

主な支援内容

● 防犯活動講習会の開催

防犯活動のノウハウを、先駆的な団体の取り組みを交えて紹介し、住民の理解と参加を啓発します。

● パトロール体験会の実施

本市が発祥で全国に広がった青色回転灯搭載車によるパトロール(通称:青パト)の紹介や、実際に歩いてパトロールを実施し、現場で注意する点などを解説します。



防犯活動講習会



四日市市地域防犯協議会 副会長
富田地区地域安全すみれ会 会長
やまざき ゆきえ
山崎 幸枝さん

「地域安全すみれ会」は、女性だけの自主防犯活動団体で、平成8年に立ち上げました。各種団体などに所属する幅広い年代の約450人の女性たちが、日々活動しています。

会員みんなが、日ごろから防犯意識を持ち、買い物などで外出した時に、団体のバッジをつけてパトロールも行うなど、日常生活の一部として無理なく活動しています。その中で気付いた点や要望などがあれば報告してもらい、会報などを通じて会員同士で情報共有をするとともに、必要に応じて警察などの関係機関にも連絡しています。

日ごろからの防犯活動が、地域住民の絆づくりにつながり、住民の生の声を聴けるようになったと思います。

また、私たちの団体は「四日市市地域防犯協議会」に所属しています。この協議会では、各地域で防犯活動を行っている27団体、警察、行政が、防犯活動に関する情報交換を行っているの、自分たちの防犯活動の参考になります。防犯活動は、行政と市民が一緒に取り組むことでさらに効果が上がると思います。

「チャイルドビジョン(幼児視界体験メガネ)」をご存じですか?

子どもは、目の高さが大人よりもかなり低いいため、視野がとても狭くなっています。車などで視界がさえぎられて交通事故になるケースが子どもに多いのは、目の高さの違いが原因と考えられています。

「チャイルドビジョン」(写真)により、大人が子どもの視野を体験することができるので、子どもの視野は死角が多く危険性が高いことを理解し、大人自らが子どもを守る必要性を感じることができます。

本市でも、「チャイルドビジョン」を活用し、安全・安心なまちづくりを進めています。

※「チャイルドビジョン」は、市ホームページ([HP](http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu82535.html) <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu82535.html>)からダウンロードして組み立てることができます

